

題材名「火山の映像を見よう」

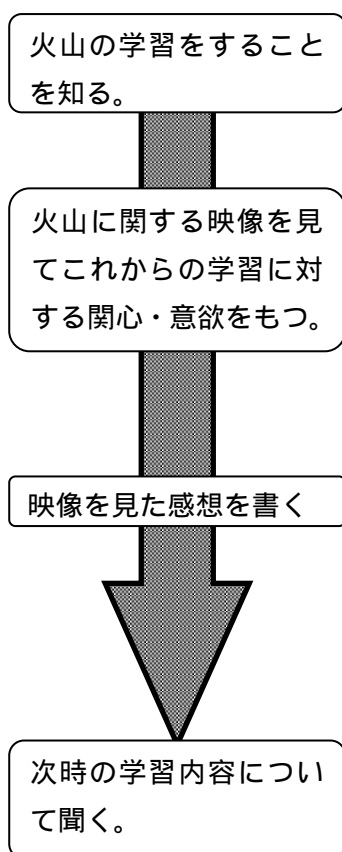
目 標

- 火山に対する興味をもつことができる。

コンピュータを活用する利点

- ビデオを録画したり借りたりしなくても、実際に見る事が困難な場所や物の映像など様々な情報を時間を選ばずインターネットで簡単に入手できる。

授業の流れ



ICT 活用場面

今回は教師のパソコンからプロジェクターに映像を送り視聴するという方法で行った。

子どもたちは教科書や図書室の図鑑等で火山の構造やマグマの画像を見たことはあるものの、それを動画で見る機会は少なかったようである。今回使用した教育用画像素材集(<http://www2.edu.ipa.go.jp/gz/>)の「自然現象」「火山」の中には噴火の映像や構造のアニメーションはもちろん、マグマが冷えて固まる様子や、研究者がそのマグマをサンプルとして持ち帰る様子もみることができる。研究者の後ろにマグマが飛び散るシーンでは子どもたちから「あぶない!」「なんでそんなところにおるん!」などのつぶやき(叫び?)が出るなど盛り上がった。そこから、今でも実際にハワイのキラウエア火山では噴火が繰り返されていることや、火山の噴火によってできた陸地や山などの話、このように危険を承知で研究している人がいるからこそ、たくさんのがんが分かってきているという話をした。子どもたちは「へー」なるほどー」といいながら聞いていた。次時からの学習についても興味をもってくれたようであった。



成果と課題

成果としては実際に行くことが不可能な場所の映像を大画面で視聴することで、子どもたちが火山の迫力を疑似体験でき、上述のつぶやきからもわかるように学習内容に対して興味関心を高められたことである。課題としては、やはり「遠い国の話」「身近ではない」となってしまうがちなことである。その後の学習で自分たちの身近な火山などにもつなげていく必要がある。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	デスクトップパソコン 1台 プロジェクター 1台
使用ソフト名	教育用画像素材集 (http://www2.edu.ipa.go.jp/gz/)
使用教室	コンピュータ教室

研究者がマグマを採取する様子

